令和7年第4回定例会付託事件一覧表

| | 付 | 付託委員会 |
|--------|--------------------------------|---------|
| 第67号議案 | 市道路線の廃止について | 建設環境委員会 |
| 第68号議案 | 市道路線の認定について | 建設環境委員会 |
| 第69号議案 | 国立第二小学校改築工事 (建築工事) 請負変更契約の締結につ | 総務文教委員会 |
| | いて | |
| 第70号議案 | 国立市乳児等通園支援事業の設備及び運営の基準に関する条 | 福祉保険委員会 |
| | 例案 | |
| 第71号議案 | 国立市印鑑条例の一部を改正する条例案 | 総務文教委員会 |
| 第72号議案 | 国立市手数料徴収条例の一部を改正する条例案 | 総務文教委員会 |
| 第73号議案 | 国立市放課後児童健全育成事業の設備及び運営の基準に関す | 福祉保険委員会 |
| | る条例の一部を改正する条例案 | |
| 第74号議案 | 国立市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営の基 | 福祉保険委員会 |
| | 準に関する条例の一部を改正する条例案 | |
| 第75号議案 | 国立市家庭的保育事業等の設備及び運営の基準に関する条例 | 福祉保険委員会 |
| | の一部を改正する条例案 | |
| 第76号議案 | 令和7年度国立市一般会計補正予算(第5号)案 | 総務文教委員会 |
| | | 建設環境委員会 |
| | | 福祉保険委員会 |
| 第77号議案 | 令和7年度国立市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)案 | 福祉保険委員会 |
| 第78号議案 | 令和7年度国立市介護保険特別会計補正予算(第2号)案 | 福祉保険委員会 |
| 第79号議案 | 令和7年度国立市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号) | 福祉保険委員会 |
| | 案 | |
| 第80号議案 | 令和7年度国立市下水道事業会計補正予算(第1号)案 | 建設環境委員会 |
| 第81号議案 | 国立市障害者センターの指定管理者の指定について | 福祉保険委員会 |
| 第82号議案 | くにたち心身障害者通所訓練施設あすなろの指定管理者の指 | 福祉保険委員会 |
| | 定について | |
| 第83号議案 | くにたち北高齢者在宅サービスセンターの指定管理者の指定 | 福祉保険委員会 |
| | について | |
| 第84号議案 | くにたち福祉会館の指定管理者の指定について | 福祉保険委員会 |

| | 付 託 事 件 | 付託委員会 |
|--------|---------------------------------|---------|
| 陳情第23号 | 江戸時代の会津藩では、藩士の心得として什の掟を定め、その | 総務文教委員会 |
| | 最後に締めくくりとして「ならぬことはならぬものです」との | |
| | 言葉があり、先人の教えを謙虚に学ぶ中で、自民党派閥の政治 | |
| | 資金パーティー裏金事件で、約 5,100 万円を政治資金収支報 | |
| | 告書に記載しなかったとして、政治資金規正法違反(虚偽記載) | |
| | 罪に問われた大野泰正元参院議員の公判が東京地裁で行われ、 | |
| | 旧安倍派の会計責任者が証人として出廷し、政治資金パーティ | |
| | 一収入の還流再開を要望した人物が下村博文元政調会長であ | |
| | ったと、勇気を持って証言されたこと、世耕弘成元経済産業相 | |
| | が、旧安倍派の会計責任者へのショートメールで"議員側のセ | |
| | ミナーやパーティーの収入に上乗せして計上する"との工作方 | |
| | 法を指南していたことが明らかになったことを受け、旧安倍派 | |
| | の裏金システム全体像を把握されていると推察される森喜朗 | |
| | 元総理と、下村博文元政調会長、世耕弘成元経済産業相の国会 | |
| | への証人喚問を求める意見書の提出を国に求める事に関する | |
| | 陳情 | |
| 陳情第24号 | 国立市内の小・中・高・特別支援学校における「いじめ」をな | 総務文教委員会 |
| | くす取り組みに関する陳情 | |
| 陳情第25号 | 公益通報対応体制の整備その他の必要な措置等に関する陳情 | 総務文教委員会 |
| 陳情第26号 | 国民健康保険税に関する陳情 | 福祉保険委員会 |